

# 桑野塾

桑野塾 検索

<http://deracine.foo.jp/kuwanojuku/>

大学などの研究者に限らず、興味を持って研究していることを自由に発表しあう「広場」です。  
どなたでもご参加いただけます。  
それぞれの興味が少しずつ重なり合うことで、新たな知見を見いだそうという場です。

## 第33回

2015年  
**10月24日(土)**  
15:00 ~ 18:00

早稲田大学 早稲田キャンパス 16号館 820号室

★ どなたでもご参加いただけます。会場に直接お越しください。参加無料

☆ 終了後、近くの居酒屋で懇親会を開催します。(飲食費は別途)

※予約の都合上、懇親会参加をご希望の方はなるべく事前にご連絡いただくと助かります。

※報告者・タイトルは変更の可能性もあります。ご了承ください。



## 黒いピエロは何を歌ったか？

——亡命の歌手ヴェルチンスキーを聴く

報告者：武隈 喜一



アレクサンドル・ヴェルチンスキー(1889-1957)  
Александр Николаевич Вертинский  
ロシア語版 Wikipedia (ru.wikipedia.org) より

### “野蛮なロシア”の哀愁の歌声——

ロシア革命前のキャバレーで、黒いピエロとして一世を風靡したロマンス歌手、アレクサンドル・ヴェルチンスキーは、亡命後、ベルリン、パリ、ニューヨーク、上海、そしてハルビンで故国への郷愁を歌い続けた。

そして、1943年秋、ヴェルチンスキーはソビエト連邦へ「帰国」する。黒いピエロは何を歌ったのか、ヴェルチンスキーの生涯を追い、その歌を聴く。

●武隈 喜一(たけま 喜一)

1957年生まれ。東京大学露文科卒業。

出版社、通信社を経て、1992年からテレビ朝日に勤務。1994～1999年 モスクワ支局長。

2012～2013年 北海道大学スラブ研究センター客員教授。

著書『黒いロシア 白いロシア——アヴァンギャルドの記憶』(水声社、2015)、

編訳書『ロシア・アヴァンギャルド』I 未来派の実験、II 演劇の十月(国書刊行会)他。

武隈喜一 著

『黒いロシア 白いロシア  
——アヴァンギャルドの記憶』

〈革命〉によって、芸術文化が華開いた〈白いロシア〉の背後には、政治的抑圧によって社会的混乱に陥った野蛮な〈黒いロシア〉があった。ロシア革命からペレストロイカ以降までの芸術と政治の光と影を対照的に描き上げた、斬新な芸術—革命論！

水声社《水声文庫》／2015年7月発行／定価3,500円+税／四六判 354頁  
ISBN：978-4-8010-0121-3

